



ろうさい病院つうしん

発行所:中部ろうさい病院

〒455-8530 名古屋市港区港明1-10-6 TEL: 052-652-5511
https://www.chubuh.johas.go.jp/ FAX: 052-653-3533

当院の理念

納得、安心、そして未来へ

当院の基本方針

- ・医療の質の向上と安全管理の徹底
- ・生命の尊厳の尊重と患者さん中心の医療
- ・人間性豊かな医療人の育成と倫理的医療の遂行
- ・地域社会との密な連携と信頼される病院の構築
- ・災害・救急医療への積極的な貢献と勤労者に相応しい高度医療の提供

新年のご挨拶

院長 佐藤 啓二

新年おめでとうございます。

名古屋市南部の地域医療において、当院が果たすべき医療機能を見直した結果、昨年4月より小児科及び産科診療を停止しております。連携医療機関の先生方には少なからずご迷惑ご負担をおかけしたものと考えておりますが、皆様のご協力により、名古屋市南部の地域医療においては各別な混乱及び問題は生じていないものと認識しております。



新入院患者数及び医療収入は4月より10月末日まで、昨年度に比しやや上回る状況で、維持できております。一方平均在院日数は10日台に短縮し、入院診療単価は8万円となっておりますので、効率の良い医療を提供することにより、患者さんの医療費負担を軽減させることができているものと考えております。また在院日数短縮により1日平均入院患者数は低下しておりますが、医師・看護師・医療スタッフの負担軽減につながっており、昨年4月より施行された医師働き方改革の趣旨に副うものと考えております。

さらにクリニカルパスの見直し、ICU高率利用等のプロジェクトも動いておりますので、さらに洗練された病院機能を発揮できる急性期病院として、脱皮しつづけたいと願っております。

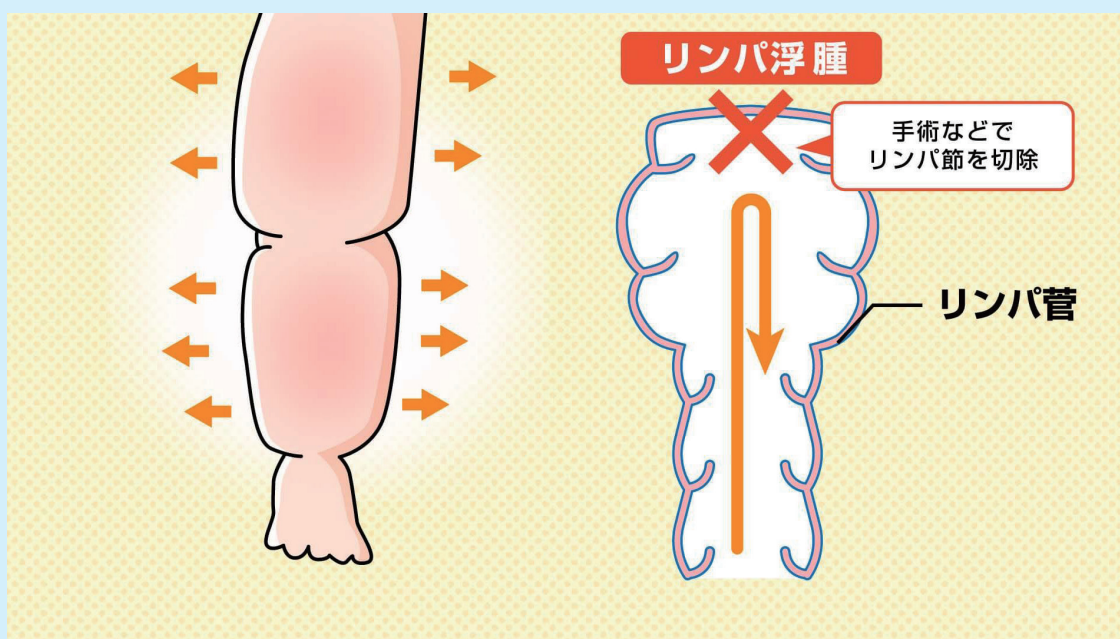
リンパ浮腫の最新治療について

形成外科部長 加藤 友紀

【リンパ浮腫とは】

乳癌・子宮癌・卵巣癌・前立腺癌などでリンパ節を切除されたり、放射線治療でリンパ液の流れが阻害され、上肢や下肢にむくみなどの症状が出る人を続発性リンパ浮腫といいます。発症時期に個人差があり、術直後より発症する人もいれば、十数年経過してから発症する人もいます。原因不明の原発性リンパ浮腫とは異なり、リンパ浮腫の患者の9割がこの続発性リンパ浮腫に分類されるといわれおり、多くの場合は片側性です。

上記の主科で相談してもリンパ浮腫に対しては適切な指導や治療が受けられない場合もあり、潜在的な患者数はかなり多いと考えられています。



【リンパ浮腫の治療方法】

主な治療は複合的治療と手術療法があります。

複合的治療としては、スキンケア、リンパドレナージ（セラピストによるものと、ご本人やご家族によるセルフドレナージ）、圧迫療法、運動療法などを組み合わせて日常生活指導など行います。



手術療法としては、顕微鏡下にリンパ管細静脈吻合術があります。これはリンパの流れが悪い部位よりも上流（遠位部）で1mm以下のリンパ管を近くの静脈にバイパスする手術です。術後に圧迫療法やリンパドレナージと組み合わせて行うことにより効果的なリンパ排液が期待されます。

【治療効果】

これらの治療により浮腫が軽減すると、周径の減少や重さだるさの減少、皮膚が柔らかくなり蜂窩織炎などの感染症の頻度が減るなどの効果が期待できます（リンパ管の傷み具合により効果には個人差があります）。

当院では形成外科の特殊外来としてリンパ浮腫外来を行っております。リンパ浮腫で困っている患者さんがありましたらご紹介いただけましたらと思います。

今後とも地域連携医の先生方のご支援ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。

医師交代

●退職

令和6年10月31日付け

渡邊 克典（麻酔科 医師）

メディカルサポートセンター

平日 8:15~19:30

(TEL) 052-652-5950

(FAX) 052-652-5716



センター長：篠田 典宏（院長補佐）

地域医療連携室長：秋山 幸一（事務局長）

副センター長：鈴木 陽子（看護副部長）

副センター長：庄山 武（医事・連携課長）

連携係長：今関 信夫（連携係長）

事務担当：今枝 智子

地域医療連携室からのお知らせ

夏季病診連携セミナーを開催いたしました

令和6年9月12日（木）に夏季病診連携セミナーをANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋にて開催いたしました。

今回のセミナーでは、圓若脳神経外科部長より「当院脳神経外科における診療体制と地域連携」、松山消化器内科部長より「これからの当院消化器内科が目指すもの～顔の見える連携、地域に寄り添う医療拠点へ～」について講演を行い、好評をいただきました。当日は、様々な医療機関の先生方やスタッフの方にご参加をいただき、改めて感謝申し上げます。

また、セミナー終了後には、意見交換会の場を設けさせていただき、日頃お世話になっている連携医療機関の先生方から、当院の医師およびスタッフが、直接ご意見を頂戴することができました。

来年度以降も、連携医療機関の先生方と直接交流できる会を継続的に開催し、地域医療連携の発展・強化につなげていければと考えておりますので、今後ともよろしくお願い致します。

冬季病診連携セミナーのお知らせ

日 時：令和7年2月13日（木）14時～15時 開催形式：オンライン配信（Zoom）

演題・演者：「群雄割拠！『ロボット支援下手術』は泌尿器科診療のナニを変えたのか、当院の特色とはナニか」 泌尿器科部長 坂元 史稔

「TIA／軽症脳梗塞の初期対応について～地域医療連携の重要性～」

脳神経内科部長 梅村 敏隆

申込方法：申込URLまたは二次元コードを読み込んでいただき、

専用フォームへ必要事項を入力の上、ご送信ください。

・申込URL：<https://forms.gle/QZtaczGV3dfEkKZz5>



広報委員長：循環器内科部長 篠田 典宏

編集担当：整形外科部長 神原 俊輔 感染管理認定看護師 近藤 年忠

医事課員 今枝 智子

